



志賀小学校道徳便り

はーとふる志賀



令和6年8月9日

真夏日、猛暑、ゲリラ豪雨... 毎日のようにこんな言葉を耳にしますが、休み前に立てた計画は順調に進んでいますか。大変暑い毎日ですが、オリンピックの熱戦によって更に熱い夏になりましたね。選手の方々のインタビューでは感謝の言葉が数多く聞かれます。戦いに向かう姿、立ち振る舞い、考え方、など結果だけでなく、そんな姿に心が動かされます。学校でも、心の成長を願い、声をかけていきたいと思えます。

さて、夏休みが始まり3週間が経ちました。「まだまだある」なのか、「もうちょっとしかない」なのか、子どもたちはどう感じているのでしょうか。私は、夏休みが残り何日あるのかカウントダウンをし始めました... ! 残りの夏休みも、体調に気をつけて過ごしてください。8月号では全校登校日の様子をお伝えします。



【平和集会】

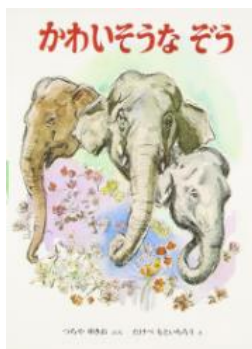


8月6日は全校登校日でした。久しぶりに子どもたちの姿を見ることができました。元気いっぱいな子、少し眠そうな子... それぞれでしたが、みんな友達と会うことができ嬉しそうにしていました。楽しそうな声が学校に響き、私たち教員も嬉しくなりました。

全校集会では、校長先生から「戦争と平和」についてのお話がありました。今、開催中のパリ五輪に因み、オリンピック・パラリンピックが開催される目的についてのお話がありました。そして、これから平和な世界を作っていくのは子どもたちであるからこそ、平和について考え、まずは身のまわりの「小さな平和」を作ってほしいという話でした。

その後は、各学年で平和学習を行いました。それぞれの実態に合わせ、79年前この日本でどんなことが起こっていたのかを伝えました。きっと子どもたちは、今の生活の有難さを感じたのではないかなと思います。

【1年生】 絵本「かわいそうなぞう」



【2年生】 DVD「夏服の少女たち」



【3年生】

絵本「りんこちゃんの8月1日」



【4年生】 DVD「ヤマンへの手紙」

絵本「核兵器をなくすと決めた日」



【5年生】DVD「戦場を歩いた女の子」



【6年生】DVD「夏服の少女たち」



【感想】

自分たちが今楽しく過ごしているのは、80年前の戦争経験者にとっては、そんな余裕も元気もなく非常識に感じると思います。こんな戦争を二度と起こしてはいけません。亡くなっていった方のためにも幸せな時代にしたいですね。

8月6日に原爆が落とされたことをあまり知らなかったです。日本人として大事な日なのに知らなくて恥ずかしいと思いました。戦争とは多くの方が苦しむことです。そんなことが日本で起きていました。戦争が起こらない平和な世界になってほしいと思いました。

たくさんの人の命が死んでしまうのになぜそんな危ないものを落とすんだと思いました。そして、人の一人の命はすごく重い存在だと思いました。

自分のやりたいことが戦争でできなくて小・中学生、小さな子どもたちまで戦争で亡くなってしまって今も戦争が続いているから、早く戦争がなくなってみんなが楽しく幸せにいなってほしいです。

家族や友達が戦争でなくなってしまったらどれくらい悲しくなるのかが分かりました。そして、核兵器をなくそうと思った人は勇気があると思いました。わけは、「そうしよう」と言ってくれない国があるからです。

命の大切さを勉強するのは自分やみんなが活着ているのがどれだけ大事かを学ぶためと分かりました。これからも自分の命を守り続けていきたいです。

【動画紹介】

8月15日は終戦記念日。体験していないからこそ、一緒に考えたり話したりする時間が大切だと思います。

NHK for School には多くの戦争関連動画があります。当時の映像や体験された方のお話があります。ぜひこの機会にお家で動画を視聴してみてください。

